

震災救助想定訓練

平成30年12月18日(火)・19日(水)



ベーシックサーチ：呼びかけ等による検索

テクニカルサーチ：高度救助用資機材による検索

大阪府立消防学校(がれき救助訓練施設)で訓練を実施しました。この訓練は、地震が発生し崩れた建物等に人が閉じ込められたことを想定し、高度救助用資機材等を活用して人命検索及び救出訓練を実施したものです。



高度救助用資機材とは？

画像探索機Ⅰ型・Ⅱ型

がれき内部等の映像を映す資機材です。(Ⅰ・Ⅱ型)さらにⅠ型は音やガスの検知、空気を送ることができます。

地中音響探知機

がれき内部等にいる要救助者の声や動きの音響を探知し位置を確認します。

地震警報器

大きな揺れが来る前にいち早く警報を発して危険を知らせます。

※これらの資機材は訓練に使用したものです。